

教科書：要説 世界史 A（山川出版）
副教材：世界史B用語集（山川出版），世界史詳覧（浜島書店）

学習目標

本校の地理歴史科の目標
我が国および世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め，国際社会に主体的に生き，平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。

第5学年の目標
世界の歴史の大きな枠組みと展開を把握させ，文化の多様性・複合性と現代世界の特質を多角的な視点で考察させることによって，歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

学習方法

- (1) 授業で扱う歴史的事象を，大きな歴史の中で確認する。
- (2) その歴史的事象の説明を大まかに理解する。
- (3) その歴史的事象の背景や原因，理由や経過，結果や意義についての疑問をもつ。
- (4) 生じた疑問についての検証を多角的におこない，解決を図る。
- (5) この時間内に学習した事項を，簡潔におさらいする。

評価の観点・方法

以下の4観点に基づき，生徒一人一人の学習状況を單元ごとに評価をします。

観点① 歴史的事象への関心・意欲・態度	歴史の事象や課題について関心をもち，意欲的に探究しようとしている。				
観点② 歴史的な思考・判断・表現	歴史の事象や課題について，その背景や原因・問題点を論理的にまとめ，発表しようとしている。				
観点③ 資料活用 of 技能	資料や文献を多面的な角度から分析しようとしている。				
観点④ 歴史的事象についての知識・理解	歴史の事象や課題について，その特色や意義を知り，相互の関連を理解し，その知識を体系化し，活用する。				
	評価の方法\観点	①	②	③	④
	学習態度の観察	○	○	○	
	課題などへの取り組みと提出物	◎		◎	○
	授業内テスト	○			
	定期考査		◎		◎

学習内容

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	・アメリカ独立革命，フランス革命、産業革命の内容と歴史的意義が理解できる。 ・ウィーン体制とその崩壊，ナショナリズムの進展が理解できる。 ・西・南・東アジアの動揺と激動の過程が理解できる。	1. 市民社会の成長 2. 自由主義と国民主義 3. ヨーロッパ諸国の東進 ／ 教科書・資料集・プリント	
2 学 期	・列強の国情と帝国主義の成立，世界分割と民族運動が理解できる。 ・第1次大戦とロシア革命，ヴェルサイユ体制，アジアの情勢が理解できる	1. 帝国主義と民族運動 2. 二つの世界大戦 3. 現代史 ／ 教科書・資料集・プリント	
3 学 期	・ファシズムの台頭，第2次大戦の内容と歴史が理解できる。	1. 二つの世界大戦 ／ 教科書・資料集・プリント	

学習のアドバイス

○歴史的事象と現代の世界を関連させて考えること。

- 世界の歴史を学ぶことは、我々が生きているこの現代の社会を理解することに直結する。
- 皆さんがこれから、現代の世界でどう生きていくかということを考えていく大きなヒントになる。

○授業で扱った歴史的事象に関連する書籍を読んだり，映画を観たり，博物館に行くこと。

- 関連する地域や時代に興味・関心が出てきて，自ら課題をもって学びたいくなる。
- 思わぬ気づきや発見があつて，学習意欲が高まるとともに，歴史的理解が一層深まる。

○新聞やインターネットで時事問題にできるだけ触れ，世の中の出来事に興味・関心をもつこと。

- 時事問題の様々な構成要素に，授業で扱ったことや関連事項が意外に多いことに気付く。
- 現代からの視点，過去からの視点，未来からの視点，など多角的なものの見方・考え方が身に付く。

<STEAM教育>

- ① 各種データ資料を分析し考察する。(国際収支 生産比較) <科学的 数学的思考>
- ② 古代エジプトやマヤ文明のピラミッドの構造を分析して考察する。<物理的 技術的思考>
- ③ 歴史的に重要な資料を原文(英語)で読み、考察する。<英語>